

公表日 令和6年1月19日

事業所名 どんごジュニア

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●				
	② 職員の配置数は適切であるか	●			職員の体制は指定基準よりも多くの職員を配置しています。保育士、社会福祉士、作業療法士などの有資格者を配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	●			バリアフリーにはなっていませんが、活動目的に合わせて空間の構造化を行っています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	●			日々の打ち合わせと月1回職員会議を実施しています。その都度、業務内容の見直しを行い、改善に努めています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●			毎年ホームページにて公表しております。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	●			毎年、地域支援で療育の様子を見ていただき、アドバイスをもらっています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			年4回の職員研修や、研究会、勉強会等を行っています。外部から講師に来てもらい、学ぶ機会を設けています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			今期からお子様との面談もを行い、お子様自身が感じているニーズも考慮しながら支援計画を作成しています。	
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	●				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			チームで取り組み、活動内容が充実するように考案しています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●			子どもたちの特徴を考慮しながら、様々な体験ができるようにプログラムを作成しています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	●			それぞれの時間に応じて経験できる事、経験から成長に繋がるように課題を考えて取り組んでいます。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			一人ひとりの特性に応じ、個別の課題と集団適応・社会性の課題を考察し、今の成長に必要な事を支援計画に記載しています。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●			朝礼や昼礼を行い支援の目的やお子様の様子に合わせて、職員の役割分担やサポートの仕方を打合せしています。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●			翌日の朝、昼礼時、会議時に情報共有などを行い職員間で情報共有しています。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			気になる事や良かったことなどを支援計画目標に沿って日誌に記録しています。翌日の朝礼で利用者の支援の振り返りを行い改善に繋げています。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	●			6か月に1度モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	●			ガイドラインに沿って事業所の特色を生かしています。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●			児童発達支援責任者やお子様に関わっていた職員が出席し情報共有を行っています。	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	●			連絡ノートや家庭からのお電話にて情報を共有しています。またお迎え時に支援級の先生を中心に学校での様子などを情報共有しています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	-		対象児がありません。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	●			法人内の児童発達支援事業所を利用していた児童の情報は、情報共有を行っています。	
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	●				
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●				
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	●			公園での活動時に、公園で遊んでいる子ども達も交えて一緒に遊ぶことがあります。	
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	●				
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●			日々の送迎の際にお子様の状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けます	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	●			ご家庭でできる事などアドバイスさせて頂いています。	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●			連絡ノートや電話、面談など必要に応じて対応しています。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	●			毎年、親子行事を開催しています。その中で保護者様同士の交流の場を企画しています。	今年度も茶話会を開催することができました。来年は親子行事や茶話会の開催を増やし、交流できる機会を少しでも多くしていきたいと思っております。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●			毎月のおたよりや、賛助会会報で情報を発信しています。また今年からインスタグラムを開設し毎週活動内容を発信しています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	●				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●			子どもの特性を考慮し、必要に応じてホワイトボードなどの道具を使用するなど、意思疎通を交わせる工夫を行っています。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	●				
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	●			衛生管理委員会を選定し、多様なマニュアルの作成・修正を行っています。また、行事などに合わせて必要な情報を職員間で共有する機会を設けています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●			火災避難訓練・地震避難訓練・不審者訓練を毎年実施しています。訓練内容が同じにならないよう、様々な場面を想定しながら実施しています。また訓練後はお便りの中でご家庭へ報告しています。	
	④③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●			毎年職員研修の中で、虐待防止のための勉強会を開催しています。	
	④④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	●			身体的拘束について、保護者様に説明させて頂いた上で個別支援計画に記載しています。	
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	●			アレルギー一覧表を作成し、対応できるようにしています。	
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●			事故防止検討委員を選定し、毎月の職員会議で事例を共有して再発防止の検討会議をしています。	
	④⑦						

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。